



あし うら し
足の裏にも、指もんはあるの

あし うら し
足の裏にも、指もんはある

て ゆび し
手の指の指もんは、よく知られていますが、あし うら し
足の裏にも指もんはあります。

て ゆび し
手の指などにある指もんは、何かをにぎったり、つかんだりするときの、すべり止めの役目
をしているという説があり、あし うら し
足の裏の指もんについては、あるはし
歩いたり走ったりするときに、すべらないようにする、やくめ
役目をしているという説があります。

し かたち いっしょう か
指もんの形は、一生変わらない

し かたち
指もんの形には、うずまき形やながれ形のものがありますが、それぞれの指の指もん
の形は、かたち い
生きている間、あいだ いっしょう か
一生変わりません。

また、し
指もんのみぞの深さやはば、それぞれのゆび し
指の指もんの形のならび方は、かた ひと
人によつてすべてちがうため、こじん
個人を、ほんとう ひと
本当にその人であると判断するのりよう
に利用されます。

し かたち おや こ
指もんの形は、親から子へと遺伝することが多く、おお おや おな かたち し
親と同じ形の指もんを、多くもった
こどもが生まれたりします。

し
指もんのみぞの深さやはばは、おとな からお
大人になると大きくなります。しかし、おとな からお
大人になると、からだ
体の成長が止まることや、し かたち いっしょう か
指もんの形は一生変わらないことから、指もんから、おとな こ
大人か子どもかのくべつ
区別はついても、およそのねん
年れいがわかることはありません。



うずまき形

ながれ形

ゆみ形

